

平成23年11月30日

村上市議会議長 様

委員会名 建設企業常任委員会

委員長名 平山 耕

### 常任委員会行政視察報告書

下記のとおり、行政視察を行ったので、その結果を報告します。

#### 記

- 1 期 間 平成23年11月16日(水)～ 11月18日(金)
- 2 視察地 滋賀県彦根市・京都府亀岡市
- 3 参加委員氏名 本間清人委員・川崎健二委員・相馬エイ委員  
山田 勉委員・小田信人副委員長・平山耕委員長
- 4 調査項目 ・景観行政の取り組みについて(滋賀県彦根市)  
・景観行政への取り組みについて(京都府亀岡市)

#### 5 調査の概要

11月16日から18日まで2泊3日の日程で行政視察を行いました。

初日は滋賀県彦根市に伺い、国宝「彦根城」を中心とした景観計画について研修を行いました。

彦根市は平成7年に景観条例を制定し、平成19年に景観計画を策定しています。年間70万人から80万人の観光客があり、国宝「彦根城」という歴史的建造物が市民のシンボルとして親しまれ、理解のある取り組みがなされていると感じました。

また、2日目は京都府亀岡市にて研修を行いました。亀岡市は保津川下りで有名な所であり、京都・嵯峨野・嵐山観光の一環として位置づけられています。

また、大阪のベッドタウンとして開けた市でもあり、最近まで人口が増加していたとのことです。亀岡城跡は財政難であった明治の頃に売却され、宗教法人の所有となり観光客や市民が自由に立ち入ることができないとのことです。

景観条例についても反対を唱える町内があり、苦慮されているとのことでした。お城があるところとないところでは市民の意識にも差があるように感じました。

3日目には京都市内の歴史的建造物やまちなみ保存についての研修を行いました。国際観光都市である京都は観光客の半数以上が外国からの観光客と伺いました。ごみ捨てや禁煙などが徹底されており、国際観光都市として位置づけが府民にも理解されているものと感じました。



彦根市にて



亀岡市にて

